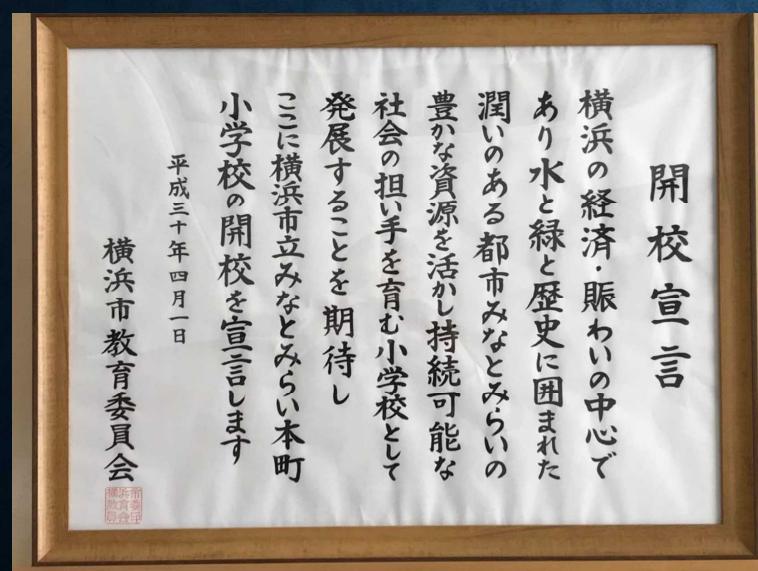


小正委員提出資料

開校宣言

平成30年4月1日、開校宣言のもと、持続可能な社会の担い手の育成を目標にスタートしました。



日本を代表する大都市横浜の経済・賑わいの中心であるみなとみらい地区の学校として、多様な社会資源を活かした学校教育を実践することを通して、これから持続可能な社会の担い手として、主体的に自らの学びを高め、行動していく子どもの育成を目指します。

ESDロジックモデルによる可視化・共有

【最上位目的】

スーパーゴール

学校教育目標 「『みな』と『みらい』を創る子】

「多様性を認められる」「多面的・多角的に物事を捉える」「問い合わせ出して学び続ける」「まちに愛着をもつ」「豊かな心をもつ」の5つの資質を育成する。

【上位目的】

最終アウトカム

社会（まち・ひと）とつながり、多様な文化や価値観を取り入れながら広い視野で物事を捉え、現代社会における課題の解決に向けて行動できる、持続可能な社会形成を担うグローバルな人材が育成されている。

【戦略目的】

中間アウトカム

「みなどみらい」の豊かな資源を生かした教育活動から、社会（まち・ひと）の課題解決に向けて、さまざまな視点や立場に立ち、多様な他者の考え方を共有しながら、地域・保護者・企業にはたらきかけ、社会に変化を起こせる子（※1）が育っている。 ※1／社会に変化＝変容

直接アウトカム 01 子どもたちが、社会（まち・ひと）から課題を見い出し、解決に向かって試行錯誤しながら活動を進め、自分たちの成長を感じている。

直指 0101 発達段階に合った課題を自分から見い出している。

指針 010101 身近なまちや生活を見つめ直し、まちの課題解決に向けて、願いや思いをもつ。

直指 0102 具体的な解決方法を試しながら、粘り強く追究している。

指針 010102 話合いを通して、学年・学級集団で追究する価値がある課題を選択する。

直指 0103 自分たちの考え方や課題を更新しながら、発展的な課題解決学習を進めている。

指針 010201 計画を立て、課題解決に向けて見通しをもつ。

直指 0104 体験したり調べたりするなど、材（ひと・もの・こと）に繰り返し関わる。

指針 010202 専門家に出会い、アドバイスをもらいながら活動を進める。

直指 0105 活動を進めるなかで計画を見直したり、問い合わせたりして学習を調整する。

指針 010301 自分の見方・考え方の広がりや学び方のよさに気付く。

直指 0106 専門家に出会い、アドバイスをもらいながら活動を進める。

直接アウトカム 02 子どもたちが、多様な他者とコミュニケーションを図り、活動の価値に気付いている。

